

Game Report

開催場所：東海大学九州 松前記念総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 17 日(土)

試合時間：18:20～

主審：田上 敬一

副審：山口 憲昭

東海大学九州	○ 6 8	15	—1st—	15	● 5 9	日本経済大学
		19	—2nd—	14		
		15	—3rd—	21		
		19	—4th—	9		

第 1 ピリオド

日経大は堅い守りから走るバスケットを展開し得点に繋げていく。対する東海大も # 2 長野のアシストを起点とし得点を重ねる。しかしその後は、両チーム共に激しいディフェンスで相手に点数を与えない状態が続く。東海大は # 7 林のリバウンドシュートでこの状態を打破すると、その後も # 2 1 谷里、# 2 3 趙がフリースローをしっかりと決めていく。このまま東海大が勢いに乗るかと思われたが、日経大 # 3 5 小野が終了間際に 3 P シュートを決め、15 - 15、同点で第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

第 1 ピリオドとはがらりと変わり、日経大は # 3 佐藤、# 9 山崎が 3 P シュートを決めると、東海大は # 6 小澤のドライブ、# 2 長野の 3 P シュートで食らいつき、互いに点を取り合う展開となる。日経大 # 3 1 矢野が迫力のあるセンタープレーで連続得点すると、東海大も負けじと走るバスケットで対抗する。残り 2 分、29 - 29 の同点となったところで日経大がタイムアウトを請求。しかし、勢いに乗った東海大は # 6 小澤の 3 P シュート等で点数を伸ばし、34 - 29 と東海大リードで第 2 ピリオド終了。

第 3 ピリオド

日経大は # 9 山崎、# 3 5 小野が 3 P シュートを沈め、1 点差に詰め寄る。さらに、# 3 1 矢野のバスケットカウントで逆転に成功する。しかしその直後、東海大 # 6 小澤が 3 P シュートを決め、再びリードを奪う。互いに点の取り合いとなり、両者一步も譲らない状態が続くが、東海大 # 5 北原がスティールからレイアップシュートを決めると、続いて # 2 長野のシュートが決まる。流れを変えたい日経大はタイムアウトを請求。気合を入れ直した日経大は # 1 武田、# 9 山崎が得点し、49 - 50 と日経大が逆転し、第 3 ピリオドを終える。

第 4 ピリオド

第 3 ピリオドに続いて、互いに点を取り合う拮抗した状態が続く。日経大は # 3 1 矢野を起点とし得点を重ねていく。東海大も # 7 林、# 2 長野の 3 P シュートで対抗する。先に抜け出したのは東海大。# 2 長野がドライブを仕掛け、与えられたフリースローを確実に決め、61 - 57 とリードを奪う。残り 1 : 36、日経大がタイムアウトを請求するも、東海大 # 2 1 谷里が 3 P シュート、# 2 3 趙のシュートが決まり 68 - 59 でタイムアップ。東海大が接戦を制し、全勝で 2 巡目に移る。